

設問C 5 (他にご意見・提案があれば、お書きください。)に寄せられた意見。提案

番号	回答内容
1	・子どもが楽しく参加できるように。 ・信徒が互いに混ざり合い分かち合えるようにした。
2	・外国の司祭が、福音から外れ、故郷の話ばかりをして、説教と呼ばれるのが疑問に思います。全てにおいて司祭の許可が要り、良いと思うことが「？」となり、昔の典礼が逆戻りしているのが疑問に思う。 もっと信徒との交わりを深め、日本の風習を理解してほしい。
3	「宣教司牧方針」については、教会の皆さんに紹介したが、教会内あるいはグループでゆっくりと取り組む時間・機会が持てなかった。個人的に振り返り、この宣教司牧方針が形として示されたことは、100周年の歩みを前にとても大切なことだと思った。 2019年11月に教皇様が訪日された直後から、コロナによるミサ中止などが何度か繰り返され、3年間、ミサのない時も過ごし、教会から信徒へのメッセージを送り続け、やっとミサが再開され、ミサを中心とした生活が復活し、バザーなどの催しも行われ、教会が再び息づいてきたと感じられる日々になった。この動きの中に、聖霊の働き、息吹を新たに感じられる思いを強くしている。 神に感謝
4	パパ様の発信しているメッセージを大切にしている。
5	介護生活の比重が多くなるにつけ、教会内外の奉仕もできなくなりました。アンケートの質問は、現在関わっていることが少ないことを実感させられました。祈りで支援することの大切さも実感させられました。
6	毎週、教会に行っているのに、特に具体的な参加をしていないことが明らかになりました。残念です。「主よ、私はあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。お言葉をいただくだけで救われます」この言葉が残念です。せっかく「どうぞ」と言われているのに、なぜ、お言葉だけで、と言うのでしょうか。
7	最近、外国からの巡礼団が教会を訪問されたことを後で伺いましたが、何からウエルカムを示すために、私たちにできることがあれば、お知らせいただければ嬉しいです。
8	当地に来たばかりで、教会活動には殆ど参加できない月日でしたが、今後の活動を目指して希望を持っています。聖書研究の希望者が出てきています。大切に育てて、少しでも彼女たちの心の希望を育てたいと考えています。
9	p.25「互いに支え合う」に関して、曲解なのか真であるのか私にはわかりませんが、委員会や係、朗読への誘いが半ば強制にて、(私は主体や関係者ではありません。)私が知っている限りでも何名か教会から距離を置かれました。非常に難しくセンシティブな文節ではないかなと思っております。
10	カルト対策を。
11	基本方針が掛け声だけにならないために、時間をかけ、報告会、体験を分かち合う。
12	・カトリック幼稚園や保育園の子ども達、保護者に、子どもには神様のお話しや七五三、クリスマスに教会に保護者に行くことで教会に入る機会をつくり、祈る体験をすると、大学生位になって教会に行ってみようとする子供や保護者がいます。キリスト教、教会が開かれた場所になっていると思います。とても大切なことだと思っています。
13	・ともに祈り、励まし、道を示してくださる教会のリーダーの皆さんに感謝します。 ・地区を超えて、国籍、年齢、分野が互いに知り合い、ネットワークを広げる機会や手段をつくる。(神学校の庭園を借りて、ネットワーク・フェスタ、教区のHPにグループSNSのMENUをつくる。)
14	教区内の組織や役割で、外国籍の方が全く同じように活動あるいは行動することは難しいこともあるかもしれないが、日本人、外国人と分けなくて同じ兄弟姉妹として、月1～2回、9:00AMの主日ミサを英語やベトナム語のミサにして、信徒が少しでも交流できるようにすることはどうだろうか？
15	教会で挨拶しても返さず、にこりもしない人もいる。同じ共同体の仲間だから親しくしようとする努力が必要。
16	このアンケートを見ただけでは、主催者が分かりづらい。福岡教区のごどこからの依頼でしょうか？司教様だけでなく、一緒に宣教司牧方針を勧めておられる部や係の方がいらっしやると思います。
17	他の教会から移り、1年たちます。なかなか信徒の方々とは馴染めずにいます。ごミサ後、どなたとも話をせず帰宅することがほとんどです。少し寂しい気持ちです。 個人としては、弱い人、困っている人を助ける努力はしています。

番号	回答内容
18	なかなか実行できませんが、意識は高まったと思っております。
19	別紙意見5のとおり。
20	教区方針に具体的、どう取り組んでよいかわかりません。このことをまず、教会皆で分かち合うことが大事では。まず、その取組がなければ、これまでと何も変わらないと思います。特に何の取組みもないままこれまでの事に応える意味の内アンケートになってしまうのでは。
21	宣教司牧方針の重要性を認識していませんでした。アンケートのためにホームページで見ようとしたのですが、見る事ができませんでした。（操作ができなかった。）申し訳ありません。
22	宣教司牧方針がどれだけ浸透しているかは疑問です。この多様な時代に生きていく指針になるとは思いますが、身近ではありません。
23	小教区で何ができるかを考え、自分で、又はみんな（信徒）で役立てることがあれば、行っていきたいと思えます。
24	教区方針が「書かれた文字から生きた言葉になるには、そのための分かち合いやワークショップが必要になると感じます。
25	今、教会の広報に携わせて頂き、教会の活動や信徒の言葉を教会独自の冊子にて発信するお手伝いをしています。子育て世代（同年代）の信徒に、教会や進行について、もっと分かち合いをしようと動いています。素晴らしい実りがあることを祈りながら、日々過ごしています。
26	福音宣教・同じコップの中では・・・と思うことが多いです。 祈りは大切ー 来るものだけでなく。 その祈りを外にーで信者は増すのでは。
27	障がいを持っている信徒や家族の支援体制が不十分です。もう少し、考えていただきたいと思えます。
28	コレジオ生の召命のためにレジオマリエ光丘会員としてお祈りいたします。
29	教会からの方針、案内（お知らせ）、説明等は時に難しく、カトリック新聞でも一週間かけて複数回読んでやっと理解に至っています。先日”この道”牧山勝美神父様の本を読ませて頂きましたが、200ページの半ばですが、私ども高齢でもすぐわかりやすい。理由は聖書の言葉でも現実的な表現がされているからと思えます。この本（冊子）をいただいた方に感謝です。
30	出向いていく教会に力を入れてほしい。今いる信者を育成することが中心になっているので。
31	教会の発展を心よりお祈りしています。
32	活動も良いですが、静かに祈りたいです。ゆっくり、会話、対話したいです。
33	・教会（ミサ）に来られない人のためにも、各教会でオンラインミサ（録画）の配信をするのはどうでしょうか？ ・日曜日のミサ後に、聖書の分かち合いを実施するのはどうでしょうか？ ・企画だと、クリスマスがある旨、何かしらの広告（家庭に案内文の配布等）の実施をすることで新求道者を招く機会をつくってはどうか。
34	・神父さんの一声があれば信徒の動きが違います。 ・信じる対象が同じなので、信仰の話には分かち合いができるのに、社会問題等になるとまったく無関心、無反応をとられる。かかわらなくても良いので、せめて関心をもってほしい。 ・結局、イエス様は社会問題に命をかけて来られたのだから。 ・うちの神父さんの言葉として、様が点くのは神様だけだから、自分には様はだめだ、せめて神父、神父さんと呼んでくれとの話が出た。
35	活動をされている方、信仰を深めようと積極的にされている方向のアンケートであり、何も出来ていない自分としては、何も答えることができません。対象が狭く、目的がわかりませんでした。
36	一人一人、家庭の状況、また、体調、信仰に対する個々の深さの違いもあって、思いはいろいろあるけれど、神様の慈しみがにじむ言葉に出会ったり、行動を見せていただくとき、歩みがゆっくりでも神様の働きを見て希望と信仰と愛に動かされている。
37	おしゃべりタイム、お茶のみ会、自然な集いを大切に

番号	回答内容
38	<p>「宣教司牧方針」を実行する為に時間がゆるされる限り、努力したいと考えております。</p> <p>高齢で家族を単独で在宅介護している状況の中、一時は介護のみに切り替えミサに与ること以上出来ないと考えておりましたが、あるきっかけと声掛けにより行動をすすめることが今出来ております。</p> <p>その広報によりいろいろな面も前向きになり、時間的には制限がありますが、小教区の一員として与えられた使命を生きていると感じております。</p> <p>今後とも、出来ることを積極的い声掛け交わりを深める努力をしてみたいです。</p>
39	<p>アンケートは一部の人の意見しか聞くことができない。現状把握が大切と言われるかも知れませんが、現状はもう把握できているのではないのでしょうか。どんな方達も相手を尊重し、心底から優しくかわることがイエス・キリストとともに歩むことになり、宣教につながるのではないのでしょうか？</p> <p>ありがとうございました。</p>
40	<ul style="list-style-type: none"> ・ミサには毎週手伝っているが、果たして、今のままでいいのか？ ・家族、信徒などの繋がりや絆を強固にするために、カトリック信徒パスポートなどの簡易証明書を製作。 ・信者として再教育を受けたい。（カトリックについて基本をもう一度）
41	<p>小教区に限らず、司教区において高齢化が進み、“出向いていく教会”にはほど遠いものの、美野島ダルクの支援など活動されています。大きなテーマに沿った活動も必要でしょうが、小さな目標～過去、聖堂のスリッパから土足へなど、反対が多い中実現されます。小さな目標は隣接する教会や同一の立地条件の教会が結び合うことも。</p> <p>例えば、守護の聖人が同じ教会が結び、宣教について話し合うなど、小さな教会としての活動も選択肢の一つ。</p>
42	<p>少子高齢化が進み、ミサを行うために必要な典礼等に係わる役員の充実もままならず、中高年層の参加を継続的に呼びかけを実施している。小規模の小教区では、まず、各運営部門のリーダーをつくるのが大事と痛感している。</p>
43	<p>もっと宣教活動をしなくては、と思っています。</p>
44	<p>宣教活動をしていきたいと思います。老人ホームをグループと訪問しました。皆で歌をうたい、とても喜ばれました。</p>
45	<p>教会共同体として活動を広げたい。</p>
46	<p>お世話になります。組織に入りにくい。コロナできっかけがなくなった。これから努力します。</p>
47	<p>信徒の高齢化が進み、積極的な活動が出来ない状況が続いています。</p> <p>信徒会も70代以上の方が中心とせざるを得ない。外部との活動にも限界があり、小教区を守る事で、精一杯の状態です。</p>
48	<p>初めての方、外国人の方、久しぶりに来られた方、子ども達、病人の方、いつも心にかけて、声掛けや訪問をしている。（個人で。）</p>
49	<p>コロナ以前は、教会の中で有志の人で分かち合いグループをつくり、ミサ後、福音についてや生活の分かち合いを行っていたが、コロナ後、信徒会館も閉鎖され、掃除後は即解散となり、分かち合いグループも解散してしまった。また、そうした分かち合いができる環境になれば良いと思う。</p>
50	<p>御堂はいつも開いているか？信者同士が触れ合う場が日曜日のミサの時からである。いつも司祭館に司祭がいない。使徒会館を利用することがない。せめて、日曜日ミサ後くらい、信徒会館を利用して交流できる場がほしい。教会内に社会に共同したグループがなく、今は開かれた教会に程遠いように思う。</p> <p>司祭が少なくなっている現状の中、信者が積極的にリーダーシップをとる機会をつくるのが課題です。</p>
51	<p>働いている保育園で、「なの花 子どもの家」。神様が共にいてくださるカトリックの精神を伝えていけるように祈っています。</p>
52	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者としての司祭の姿が、本人も信徒もぬぐい切れないのではないか。マタイ23の1-3参照。 ・・・あなた方の師はひとりだけで、あとは皆兄弟なのだ。 ・・・仕えるものになりなさい。だれでもたかぶるものは低くされ、へりくだる者は高められる。 ・聖職者も信徒も、第2バチカン公会議を再度学ぶ機会を設けては。そこにヒントがあるような気がします。
53	<p>若い人たちが集いたくなる教会になって欲しいと思います。テーマが大きく、70代には難しいですが、自分の生きる生活環境の中で、キリスト者として表せることができればと思いながら日々過ごしています。</p>
54	<p>御ミサに参加する人が少なくなりました。子供に、孫に信仰を伝えるためにどのようにすれば良いか、悩んでいます。</p>

番号	回答内容
55	開かれた教会にするためには、教会を知ってもらうために、積極的に地域との交わりを持つことが大切。バザーを開催しても、信徒だけではなく、地域の方達にも参加してもらえよう企画や開催日時などにも配慮を怠らない。他教会との交流を深める。
56	神学生を信徒の多い教会に派遣し、子ども会等で話し、意識を高める。
57	葬儀に参加している信徒が少ない。 共同体として、教会の家族として、コロナの時に一番、皆がやめていたので、（家族葬が多くなったので）どうかと思って。（信徒は家族ではないのでしょうか）
58	SNS,LINEなど通信手段が発達したため、人や物に直接接する機会が少なくなっている昨今、直に接する場所や機会が少なくなっている。教会の門がすべての人々に開かれ、貧しさ、苦しみ、悲しみを抱えている人々に寄り添える教会になるように、司祭、信徒が外に向かって未信者の方々に語り掛けていくには、どうすればよいか。祈りの中で考えなければ、と思います。一人ではないことを自ら示す。 いつ、どこの場でも、態度で、言葉で！！
59	「人々と共に歩む。」を基調に、そのためにできることが、列挙され、それに向かうための行動が明記されています。実行する手立てを示していることから、一つ一つわかりやすいと思います。しかし、あまりに多く多岐にわたっているため、信じる力の乏しい者にとって、考えているうちに引いてしまいそうです。出来ることから、手を付けてみよう、参加してみよう、行動して、広げてみよう、このようになるための仕組みが、小さな小教区では難しく感じます。隣り合う教会に受け入れてもらい、多くの意見や言葉で励まし合って、共に行動する、歩んでいくことが大事なのかなと思います。小さな一歩を隣り合う小教区で育てていくような仕組み作りが実現できればと思います。
60	上に立った人が行わないと絵にかいた餅では？
61	教会役員をしているが、教会委員会として宣教司牧方針にこだわっていない様に思う。反省！！
62	正直、ニュースや報道番組で宗教二世の人達が苦しみを訴えている姿を見て、複雑な思いがずっとしていました。そんな折、就職や進学などで、この地を離れていた若者たちが、私たち信徒の前で、語り掛けている姿を目にする機会がありました。なんだかより遅しくなって立派になって嬉しくなりました。今思うと、その時既にあの若者たちは宣教司牧を始めていたのではないかと思います。私も頑張ろう。
63	私は思います。やはり信仰を深めるには、教会、ミサだけでは色々な面で個人、個人、神様のことを理解しにくいこともある。やはり、聖書を知ることが良いのではと感じます。
64	何もできないので、お祈りするだけです。
65	発想の転換をすべき。育つ司祭を待っている場合ではないと思う。信徒が病人や教会に来れない方々に聖体奉仕をしたり、通夜、集会祭儀などをしなくてはいけないと思う。 信徒の中から助祭など選出したり、司祭はもっとたくさんの人々が一緒に分かち合い、勉強会などができるよう手助けしてほしい。福音が伝わらないのに、人生をかけてキリストの司祭になりたい人が現れるのでしょうか？以前、待遇が良くないと司祭になる人ができないと言った司祭がいたが、このような考え方で司祭になったとすれば、信徒やキリストに対して大変失礼ではないかと思う。
66	司祭が他教会と兼務しなければならぬ現状が身近に差し迫り、恐ろしいと感じている。60代でも働ける信徒でつな がっていく。 PC、スマホ等を利用して機械に慣れていく。
67	89歳になり、教会のことに積極的に協力することがむずかしくなり、何もできませんが、それを訴えるのも協力かと思 い直し、アンケートを出すことにしました。教会の働きに参加できることはほとんどありませんが、アンテナだけは立てておきたいと思っています。
68	・信徒の名簿が長らく発行されていない。名前と地区、連絡先だけでもわかればありがたい。 ・共同で作業したり、話し合う機会があれば、交わりを深めることができる。
69	分かち合いや聖書勉強をもっと頻繁に行っていきたいです。月に4回ほど別々の集いに参加していますが、少ない人数 です。ミサの後などお声がけをして誘い合わせをしています。車に乗らなくなった人も多く、なかなか人数は増え ませんでした。
70	・小教区活動として、NPO法人抱様の炊き出し弁当づくりをしている。弁当に沿える手巻き、カード作成は、教会学 校の子ども達も参加し、協力の輪が広がっている。 ・アベイヤ司教様の黙想会（大濠カトリック会館）に参加。「キリスト者は憎まない、あきらめない」を学び、新た な一歩を踏み出すことができた。

番号	回答内容
71	歳をとると、これから先、教会（ミサ）に参加することが困難になると思います。一人暮らしなので、徒歩、バスの乗り降りが出来なくなったときのことを考えると、悲しくなります、各教会は、独居の高齢者のミサ参加問題はどのようにされているでしょうか。車を返納された方もこれから先、この問題につき当たると思います。
72	・教会に来られない信者さんが、ごミサに参加できるようにサポートする仕組みが小教区ごとにあるといいと思います。 ・病気や様々な困難に直面している方々のための分かち合いの場があるといいと思います。
73	子どもや青年から教会に行きたくなるヒントを聞く必要がある。
74	コロナ等で、学び合う会を開けなかった。これから主任司祭の指導を受けながら、宣教司牧方針の勉強会ができるように努めたい。
75	唐津教会は、宣教司牧方針に基づいて、小教区の宣教司牧評議会をつくり、小教区宣教司牧評議会規約も作成し、2024年5月から発効する予定です。規約案は、11月にできました。
76	外国の方にも、答唱や朗読を奉仕してもらい、開かれたミサになるように各小教区が務めてもらえればと思う。
77	ベトナム語ミサを佐賀教会でも定期的に開いてほしい。（クリスマス、復活祭だけでもお願いします。）
78	ときどきベトナム語のミサを行いたいです。よろしくお願いします。
79	出来ることからしようと思います。
80	教会から社会に向けての呼びかけ。若い人たちへの呼びかけ、などをどのような形で行動に移せるかの交流を信徒内で出来るようにする。
81	青年が教会に来なくなる要素がない。この点の解決策が欲しい。
82	私は今週のお知らせがよく理解できません。信徒のグループに入れてもらおうとしたのですが、どうすればよいかわかりません。日本語の勉強を始めたばかりで、まだよくわかりません。私たちのような外国人の兄弟姉妹をサポートしてください。（原文は英語）
83	・若い人が福岡で行われる企画などに参加しやすい工夫。例えば、交通費の補助（必ず帰って報告する条件に）があればと思います。 ・テゼの集いが再び行われ、若い人や地域の人にも紹介し、祈りの機会、歌でのコミュニケーションができると良いと思います。とにかく、若い人の登場の場、失敗を恐れず取組が必要だと思います、年配者は温かく見守りたいものです。 ・佐賀教会のHPの立ち上げが必要だと思います。情報がこれから特に大切になるからです。いろいろな手段で、とにかく情報を発信していく必要があると思います。
84	コロナ前に行われていたテゼの集いが復活され、若い人や地域、その他の人にも紹介して、祈りの機会、歌でのコミュニケーションができるとよい。若い人の登場の場をつくってみたらどうでしょうか。若い人が福岡で行われる企画に参加しやすい工夫（例えば交通費の補助（戻って報告する条件）が少しでもあればと思います。 アプリやHP、いろいろな教区からの情報をすべて流していくことが大切だと思います、方法は掲示、ミサ後のお知らせ、LINEなどがあると思います。LINEは、有効活用（ルールを守って）すれば、とても効果があります。 佐賀でもHPの立ち上げがあるとよいと思います。
85	神が見えないと感じながらも、自分の中に神への思いを深めようと務めています。神の必要性を自分の中に大きくすることによって、神と共に行動していきたいと思っています。
86	スポーツ等を通じて、教区、地区の交わりを増やし、他の信徒との交流を持つことが小教区では無理でも可能なのかも。
87	体調を崩しているため、活動等なかなか参加できないが、なるべく情報を得て、祈り等で協力するようにしている。
88	他の地区、信徒が交われる行事、講演だけでなく、スポーツ、レクリエーションなど。
89	私たちの教会は老人によって保たれています。特別な宣教活動はしていないように思います。私個人も82歳を無事迎えさせていただきました。何のお手伝いも出来ていません。唯一有志の方々が手芸教室を頑張っておられます。
90	殆ど書くことが出来なく、申し訳ないです。
91	教会をより良くしていくために、どんな小さな意見も吸い上げていただきたく思います。できるだけ、若い世代の人の意見を聞きたいです。そして、いろいろな世代の人たちが安心して集える場、時間にしたいです。よろしく願います。

番号	回答内容
92	子ども・若者がいない教会なので、何とか子供や若者を増したいです。そのためには、教会に来ることができるようにしなければならない。先日、教会の前を歩いている小学生に「クリスマスは何の日？」って尋ねたが、知りませんでした。教会も、「ここは病院なの？」と・・・。 空き地で花をとったのを私にくれたので、「マリア様に上げてきて」と言ったら、「よそのところに入っていけないから・・・」と言われました。まず、入りやすい教会の敷地にできたら、と思います。教会学校ができることが夢です。
93	毎日の祈りによって、家庭、社会、世界のさまざまな問題に目を向け、その中から自分がしなければならないことを見つける。神の御心に沿う生活のやり方を捜す。基本的なことですが、私が忘れていたことであり、宣教司牧方針ができてことで、気づかされたことです。
94	地域の小中学校に絵本の読み聞かせなど出向いて行き、特にクリスマス時期にはクリスマスの絵本が読みやすい。
95	地域の学校（小学校、中学校など）での授業、活動での協力できる機会へ出向いて行き、平和、恵み、喜びを通して、福音を伝えることができるのではないかと考える。
96	神から各人に与えられた環境(場所や年齢や健康状態や能力etc.)によってできることは異なるでしょう。しかし、各々にとっての目の前の隣人を精一杯愛することが、神の愛に応えることだと思います。並べられた項目全部を見ると、とても現実として遠い話のように思えてしまいます。ひとつずつ、どれか一つでも、私もこれならできる、と思える具体的なことを心に決めて、取り組まれると良いけどなあ、と思っています。
97	洗礼は10数年前に授かりましたが（子どもの頃から神も聖霊も信じています。）何もわからないまま教会から遠ざかっていて、今年5月位からごミサに与ることができるようになりました、難しいことは何もわかりません。申し訳ございません。歯止めのないまま資本主義経済がもたらす現況を感じます。
98	アベイヤ司教様の前向きで明るく進もうとされる考えやお姿に共感しています。キリスト者として、一日一日大切に、自分で何かできることをしっかり見つめていきたいと思っています。
99	各々のグループが体験していることは、素晴らしいと感じます。体験の分かち合いが力を生み出します。そのような場を企画することは大事ではないでしょうか。
100	手取教会は、国際的な色彩の強い、外国の方と交わっている。
101	社会の中では、262の法則というものがありますが、教会共同体においても同様なのではないかと感じています。つまり、2割程度の方が自主的に祈りを始め、諸活動にも尽力されています。教区宣教司牧方針を活性化するためには、2の下の方6割の方がどのように共同体意識を向上させていくのが課題でもなと思っています。
102	教会を知らない人たちへ呼びかけたい。
103	娘が教会に通い始め、アドバイスなどをしています。
104	お祈りしています。
105	自宅を離れ、進学、就職した子どもたちが教会に行かないことを心配している。
106	次回のWYDが韓国で行われるので、大勢の青年の参加を望みます。
107	聖体礼拝を勧めます。満たされないと、外に出向いて行けない。
108	信徒数が少なくなった。30～50代の人々が少なく、役員が高齢化している。
109	年齢を重ね、これまで出来ていた地区、教区の行事、研修会への参加ができなくなった。
110	宣教司牧は大変難しいと思っています。 理由：平素の不勉強、努力不足、また、覚悟や信念の欠如 具体的な成果の例を分かち合ったら参考になる。
111	福岡教区内は日曜日以外門を閉じている教会がある。教会訪問、巡礼をする人にとって聖体訪問が出来ないのが残念。

番号	回答内容
112	<p>1 青年活動への支援や、青少年の信仰教育は、大変重要な事項ですが、「教会には高齢者しか来ていない」など、高齢者をネガティブ・ワードとしてとらえている場面が多く、残念に思います。今の教会を築きそして支えている人々は高齢の域に達している人々ですし、どんなに若い人々でも（人間誰でも）年を取り高齢になります。また、世間では、高齢者の活動、生き方、更に存在に対してポジティブにとらえる動きも多く見受けられます。教会も高齢者の存在にもっと敬意を払うとともに、次世代、青少年達に今まで築いてきた経験、知恵等、教会の宝となる得るものを伝えていく役割を高齢者に担っていただくことにもっと力を注ぐべきではないでしょうか。</p> <p>2 小教区内での「こころの病氣」をもった人への対応（どこの教会も大きな問題を抱えているのではないのでしょうか）「排除」ではないが、正しい対応の仕方を知ることの重要性</p>
113	<p>c-3で、悩んだ末、「未来に開かれた教会」のみ○で囲みませんでした（ごめんなさい）。「出向いていく教会」「交わりの教会」になれるように、私たちが率先して奉仕に務めれば、おのずと青少年の役割が増えてきて、「私、○○ならできそうかとおもいますけど?」とか、声をあげられるようになる気がいたします。召命問題をちらつかせるようなことをせず、まず、腰を据えて奉仕する喜びを青少年に身をもって証しすることー召命のことはそれとして、教会の奉仕のことはまたそれとして、神様のみ旨を探し求める喜びとも申しますか、醍醐味を味わうことができよう、それとなく、そっと寄り添っていければよいのかも・・・そう感じております。</p>
114	<p>1 11月3日の召命お集いに、コロナ禍以来毎年楽しみに参加し、修道女として、教区への奉仕活動ができる喜びがありました。今年のロザリオ作りは、参加者が終始途切れることなく大盛況でした。特に、若者や子どもなど、家族連れが多かったので、将来に希望が持てる気がして嬉しかったものです。来年以降、神学生がいなくても出来る方法で、召命の集いを継続して頂きたいです。</p> <p>2 カテドラルで葬儀ミサの前でした。アベイヤ司教様が、参列者のご高齢の方が杖を使って祭壇に上がろうとする時、その方に手を差し伸べられ、上り降りするのをお支えしているお姿を拝見しました。三つの柱の2番目を思い出しました。具体的には何もできていませんが、そんなお姿を拝見するだけで心が温かくなります。</p>
115	<p>具体的な活動に対して、難しさを感じます。</p> <p>召命活動の行き詰まりを感じているのが正直なところです。</p> <p>希望やチャレンジする事を失わず、祈りのうちに教会とともに毎日を捧げていくことを大切にしています。</p>
116	<p>小教区の教会ミサに子どもたちの姿がほとんどない中で、堅信組の年齢学年となり、2年3年間を通して共に祈り、学び、信仰生活が喜び、支えとなって、教会の共同体とともに、一致、協力しながら、信仰を守り通していけるように、祈り、対話を大切にわずかな子ども達とそのご家庭とのカテケージスの時を未来の教会の光を感じながら！</p>
117	<p>振り返りはとても大事なことと思います。</p>
118	<p>今、召し出しも少なくなり、教会も高齢化している現実にあって、一番先に取り組むべきは、家庭内の宣教だと思っている。教会内でも活発に働き、重鎮と自他共に認めておられる方も、自分の子ども、孫たちの、特に社会人になり、未洗礼者と結婚された方たちの信仰教育について、あまりにも放置、あきらめておられる方が多いと思う。</p> <p>「うちの子は、勉強ができて高等教育を受けているから、信仰に疑問持っているんですよ。」などとばからずおっしゃる方も、よく見かける。今は、時節柄、宗教二世問題などと、社会的問題になりつつある中で、自分の子、孫の救いについて、もう少し意識を持ってもらいたい。</p>
119	<p>『人間的な考えでの豊かさ』現代社会の渦に流されて、家庭生活の中での一致した信仰生活（家族での祈りやミサ参加）が少なくなってきたことが第一の問題であると思います。迫害時代、司祭不在の中で250年もの間、どうやって信徒だけで信仰を繋いでこれたのか？ 社会問題や開かれた教会などを考えるのではなく、まずは原点（一人ひとりの信仰の養成）から考え直す必要があるかと思えます。</p>
120	<p>宣教司牧方針について、何か活動をと教会役員さんに提案しますが小教区として何も行おうとしてくれません。教区からももっとアピールすることはできないのでしょうか。</p>
121	<p>真面目にもっと教会と付き合いを深めたい</p>
122	<p>福音宣教のためのスナックがあればよい。キリスト教に興味があっても教会は敷居が高いので、なかなか人は来ない。お酒が飲めるスナックなら社会人が気軽に来ることができる。仏教の僧侶がしているスナックもありそれなりに人が集まっている。カトリックのものもあったらいい。現実味のある提案も可能だ。</p>

番号	回 答 内 容
123	<p>意見は各その他欄に書かせてもらいました。信仰の先輩たちが戦後に建立された聖堂を美しく守るのみの聖堂信仰から、その真ん中においてくださるイエスをキリストと信じる者の集まりとして福音に出会えた喜びを聖堂内でわかちあい、助け合い、聖堂と塀を越えて伝えていく信仰へと導いてくれるわたしたちの「教区宣教方針」を深めていきます。遅くでもないより良い♡宣教方針をお題目にとどめませんように🙏</p> <p>みなさまのお働きに感謝申し上げます。主においてご大切に</p>
124	<p>まずは、小教区、一つの教会で、誰にでも、簡単にできる挨拶、言葉の掛け合いからして行くと良いと思います。小さなコミュニケーションが出来れば、将来大きな夢を叶える事が出来るでしょう。静かな湖の中に、小さな小石でも投げ入れた時に、その小さな輪は、静かに大きく広がって行きます。大きな石で有れば、その輪は大きく広がりますが、大きな石は重くて誰にでも持ちづらいのでは、無いでしょうか？</p>
125	<p>休会中のグループにとって、設問の意図が総花的で答えづらく感じました。</p> <p>ただ休会中でもグループが存在することをお伝えしたく一日遅れましたがアンケートを送信しています。</p> <p>みなさまのお働きを神に感謝します。</p>